

組合共同事業の紹介

本会では、共同事業に積極的に取り組んでいる組合事例を紹介しております。

[共同生産]

「やまがたの木」を 使った「優良住宅」を ご提案



組 合 名 ■ 協同組合山形木造住宅プレカットシステム

住 所 ■ 〒990-2307 山形市表蔵王62-1 E-mail ■ yps@sepia.plala.or.jp

電話番号 ■ 023-688-9191 FAX番号 ■ 023-688-9192 設 立 ■ 平成17年5月

出 資 金 ■ 2,800万円 組 合 員 ■ 8名 主な業種 ■ 木造建築物プレカット加工業

1

背景と動機

昨今、住宅等の木材建築に使われる構造材をあらかじめ工場で加工し、工期の短縮等を図るプレカット工法に変わってきた。

しかし、本県には工場が少ないことから、県外からプレカット加工された建築用木材が大量に流入しており、その大部分が外材であることから、県産木材を利用した木材住宅の供給が課題となっていた。

本県は、雪国であり、冬期間の雪害のため建築着工数が著しく減少するため困難であったが、このままだと県内の木林業界の存亡かわかるとの思いから、県産材の利用拡大と木材住宅産業の活性化を目的に木材の素材生産者、製材業者や木材市場が集まり協同組合を設立。

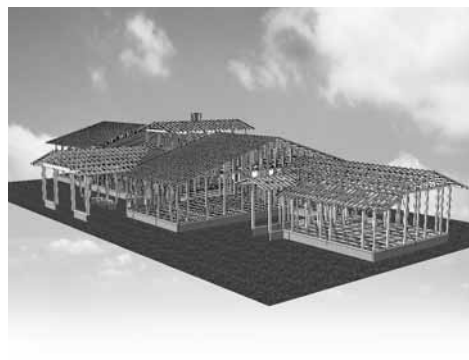
2

事業・活動の内容

総工費4億5千万円で、敷地2,400㎡に工場棟1,280㎡、製品置場棟327㎡、管理棟128㎡を建設し加工を行っている。

平成18年6月にプレカット工場が本格稼働、県産木材の利用により外材に対する競争力を高め利用拡大を図り、在来軸組工に結合金具を組み合わせることで、安全安心な住まい作りを提案している。

施工主からの依頼を受た段階で、設計事務所、材木屋さん、大工さんと打合せを行い、スムーズな建築が行えるよう連携している。



3

成 果

住宅産業の変化に対応するため、人材育成・社内教育を徹底した結果、各種資格や2級建築士を取得、合わせて2級建築士事務所として登録、平成21年4月には、建築工事、大工工事、屋根工事等の一般建築業の認可を受けることができた。また、平成22年10月には、優良木質建材認定工場(AQ認証工場)に認定された。県産材の利用推進した結果、山形県より「県産材の使用長期優良住宅」の開発事業を受けることができることになった。

事業の安定受注を図るため、大手ハウスメーカーの木造住宅加工も受け入れも予定され、これまでの木材の持ち込み加工に加え、木材の販売を伴う加工事業を展開してきている。